

新潟シティガイド

お宝発見！
まち歩きは楽しいなあ

榎田中屋本店 社長



田中 雅史 様

新潟市は広域合併前「水の都」という言葉が標榜されてきました。他県の方からみるとピンと来ないイメージかもしれませんが、僕は大好きな言葉でした。そんなお話しから始めます。昨年開催された第三回目の「水と土の芸術祭」、このベースキャンプとして大勢の来会者が訪問した旧二葉中学校はわが愛すべき母校です。日本海の大海原と佐渡島を眼下に望むかつての学び舎に佇んでいると、授業中にボンヤリと海を眺めていた少年時代の記憶がセピア



信濃川河口 新潟港

そんなことで、テクテクとお日様の恵みを体いっぱい受けるながら、水辺はもちろんかつて水路だった西堀東堀や小路を辿るまち歩

色に蘇ります。そして信濃川、萬代橋とその周辺は、今や新潟市を代表する憩いのエリアを形成しています。が、僕にとつてのあの辺りは思い出の場所でもありません。田舎だけれど意外に都会のこの町は、都心部から少し歩いただけで大海と大河を廻つて水辺を満喫できるのです。

NO. 25号
《編集発行》
新潟シティガイド
《発行人》
関 克人

- ・聞いたことは忘れる
- ・見たことは思い出す
- ・体験したことは理解する
- ・発見したことは身につく



吉川 政子

ガイド日記
初めての日本海

九月二十三日、京都から一人旅の四十代の女性の方をガイドしました。NEX T21で待ち合わせ、涌井画伯の新潟絵図で昔の新潟の様子を見ていただき、太田木甫の句碑の前で、昔の西堀の様子をお話ししました。今は道路になっていて、その面影もないのにびっくりしていました。それから鍋茶屋通りに入り、鍋茶屋、かき正、市山邸。二階からの張り出し部分に見られる曲線状の上げ裏、透かし彫りのある玄関引き戸、矢羽の形の目隠し板などの花街建築に、京都にはない新潟独特のものであるととても興味を示していました。六軒小路を歩き、こんな小路は普通では歩けない、風情のある路を歩いてうれいと言っていました。イタリア軒の一寸先にある案内板で、大正・昭和の様子

を見ました。少し柳が残っていたりはしているが、今の西堀からは想像できないとびっくりしていました。露谷虹児の歌碑の前で花嫁の絵を見せると切手で見たことがあるといい、二人で花嫁人形と一緒に歌いました。地獄極楽小路、行形亭に行き、ここから日本海はすぐ近く（五〇〇メートル位）にある事、新潟は砂丘で作られている事などお話ししました。新潟大神宮から風の館に続く人家の間の道を歩いた時は、一人で来たところなど通れないと大喜びでした。道々、「自分は海といえ、瀬戸内海しか知らない日本海をみてみたい」と話していました。砂丘館に来たとき、日本海はこっちの方ですと指差すと「わー、日本海を見てみたい」といわれたので、コースにはないけれど、急きよ日本海を見に行くことにしました。「天候が荒れている冬の日本海は、松本清張のサスペンスの舞台のようです」と話したら「へえーそうですか？」とびっくりして、人気のない日本海を見て感激していました。あいにく佐渡はみえませんでした。



日本海

それから、どっぺり坂、カトリック教会、オギノ公園をガイドし、最後に駅前ホテルに帰るお客様をバス停で見送りました。

コースにはない日本海へ行ったりしましたが、お客様の「日本海を初めて見た」と大喜びの顔を見て、コース外だけど、本当に良かったと思います。

立ち寄り

西海岸公園



石田 幾子

一万六千二百坪の護国神社の神域から続く西海岸のコース。花街のような人気

のコースではありませんが町中のすぐ傍らに在るのに一人では怖いくらいの静かな小道です。

江戸末期に植えられた松の巨木と雑木林の中、少年安吾や八一と語りイケメンな八木朋直や川村奉行を愛でながらの予習の一人歩きはあまりの心地よさに途中で時間も目的も忘れてしまいます。林を抜ける木道の先は目の前いっぱい日本海が広がります。



川村修就奉行の像

佐渡はもちろん、日によつては鳥海山までの眺望と海からの風は飽きることがありません。立ち並ぶ碑は季節ごとに見せてくれる木々の花や実が引き立て役です。神社と森と海のパワーがギュッと詰まった西海岸の小道は芽吹きどころからがおすすすめです。

ドン山とアウトドアテーブル



高橋 愛子

旧會津八一記念館を過ぎ、松林に分け入り右折すると、白い小さな建物が目えてくる。ドン山である。明治六年から大正十三年までの五十二年間、時計がまだ貴重品な時代、人々に時を告げるために、大砲の空砲で正午を知らせていたという。それは風向きによつては新発田まで届くほどの大きな音だったので、「ドン山」という呼び名で人々に親しまれてきた。



ドン山

しかし、旧制新潟高等学校建築のため、旧二葉中学校上手に移転したが、あまりに大きな音で授業に差し支わりがあるということで海に向けられて発せられるようになったという。

そんな歴史をもつが、今は静かに海を見つめて佇むだけである。春まだ浅いある日、好天に誘われて来てみた。市島三千雄の「ひどい海」、會津八一の「松の雪」からの詩、良寛の書など、そこは「文学の林」になつていた。

周辺にはいくつかの丸いテーブルと椅子がある。そこは幼い子どもたちとのドッジボールやピクニックごっこ、友人とアウトドアランチなど思い出の場所でもある。今は昔。

おすすめスポット

沢海まちあるきと北方文化博物館



伊藤 頼子

まち歩きの面白さを知って、いろんなまちを歩くと、逆に自分の地元が見えてくることがあります。

江南区沢海(そうみ)地区の北方文化博物館は、言わずと知れた「豪農の館」ですが、ここに日本でも指折りの豪農が生まれた理由は、新発田藩が分家「沢海藩」をおき、城があつた事由来します。さらに遡ると、なぜ新発田藩はこの地を選んだのか。それは会津から続く阿賀野川と小阿賀野川の分岐点、水運の要衝の地であつたからです。

地元だからこそ、「何も無い」(これは共通の口癖ですね)と思つていた身近な風景が違つて見えたり、目に付かなかつたものが突然、鮮やかに映つたり、



大榮寺の桜



渡辺 裕江

NEXT 21と寺町



北方文化博物館の藤

この瞬間を味わうと、もうヤミ付きですよね。想像力と、脳内CGをフル稼働して、いまは無き古(いにしえ)の風景を探してみませんか。
これからの季節、土手からの大河と河川敷の緑、雪を頂く五頭連峰まで、大パノラマが圧巻です。大榮寺の桜、博物館の枝垂れ桜に藤の花と、花の見頃も続きます。
豪農の館と沢海まち歩き是非お越しください。



NEXT 21よりの展望

NEXT 21周辺と西堀通に平行して一列に並ぶ三十二の寺。現在はNEXT 21の最上階の展望ラウンジには行きづらくなったが、十九階からきれいに並んだお寺・佐渡島・金井写真館のピンク色の建物(新潟で最初の写真館、建物にも明治の面影があるが、ピンク色はいつ頃からか不明)さらに四季それぞれに変わる海の色など眺めると、何回行っても新鮮な気分になれる。
この寺院一帯は、昭和時代になってもかなりの頃までは「寺町」と呼ばれていたそう。建築された当時は新潟のはずれだったのでそこに寺が並ぶように建てられたという説もあるが、今は街のど真ん中。中心部に一列に延びている寺町は全国的にも珍しいそうである。

金沢市にも三つの寺町があり、規模の大きな寺町は六十九カ寺あるそうだが、西堀通の寺院数も多い方だと思ふ。現在はいまわりにマンションが林立しており、意外性の観光スポットにするのではないかと思ったりする。
以前、知人の英国人を八月十三日にお盆のお墓参りに連れて行ったとき、NEXT 21にも行った。その際お墓とマンションのコラボレーションの写真を撮っていた。視点の違いに驚いたが、不思議な気分にもなった。
話しは違いますが、NEXT 21の一階にある螺旋状のエスカレーターも、珍しいと試乗される方が結構いるようである。それとやはり一階にある日本美術院の涌井欽也作の壁画も、必ずしも正確に表現されているとは思わないが、昔の新潟をイメージでき、すばらしい作品である。またNEXT 21のエレベーターから見える弘願寺の弘法大師像も繁華街にあるのに驚かれる方もおり、NEXT 21は意外性の観光スポットではないだろうか。

新コース紹介

「新潟ど真ん中」コース



渡辺 博

平成二十八年四月一日から新コースとしてスタートする「新潟ど真ん中巡り」コースを紹介いたします。
新潟シティガイドは発足以来今年で八年目を迎え、年間約三千名のお客さまを案内するまで成長し、コース数も二十を超えるまでになりました。

また、ここ二〜三年でホームページも充実し、県内外からのお客さまの申込みも大きく伸びています。
特に県外からのお客さまの特徴は、大多数が「新潟が初めて」で、それも「個人・ご夫婦・友人同士」など少人数の方がほとんどとなっております。
このようなことから、主として県外からのお客さまを対象に、新潟駅から約二時間で、市街中心部のメインストリートとその周辺の主要観光施設などを巡るコースを設定し、コース名も



メディアシップから「新潟ど真ん中」展望

市街の「ど真ん中」を巡ることから「新潟ど真ん中巡り」と命名しました。
コースの起点は新潟駅とし、市街を一望できる新潟日報メディアシップの「展望フロア」、新潟市の母なる川「信濃川」、それに架かる「萬代橋」、メインストリートの「榎谷小路」、華やかさが今も残る「古町花街」を巡り、新潟を代表する豪商の館「旧齋藤家別邸」を終点とする約3kmのコースです。

本来であれば、新潟駅方代口観光案内センター(以下観光案内センター)というにガイドが常駐し、何時でもお客さま対応が出来れば理想的なのですが、現状で

平成二十七年ガイドは、実績がまとまりました。その結果を対前年比で見ると、基本コースが二割アップしています。また、テーマコースでは前年度、

前年度ガイド実績

既に定着している「豪商の館二館巡り」とともにこのコースが定着し、大勢のお客さまが来られることを願っています。

は狭隘化などで物理的に可能な状況にあります。従って、今回はやむなくお客さまから申込みを受けた日に限り、観光案内センター前でお客さまをお待ちすることとし、一日二回、午前十時と午後一時三十分の定時出発で対応することにしました。

平成27年度 新潟シティガイド活動実績・分析結果(速報値)

ガ イ ド 実 績	全ガイド実績				参加人数の多い基本コース									
	分類	件数		人数		基本コース				参加人数の多い外部企画				
		H26y	H27y	H26y	H27y	H26y	H27y	H26y	H27y	H26y	H27y	H26y	H27y	
通常ガイド (500円)	基本コース	下町	38	43	168	219	1	にいがた湊・歴史散策コース	13	21	43	131		
		西大畑	29	24	147	113	2	上古町・本町界隈今昔物語コース	3	5	81	58		
		白山	6	16	90	143	3	沼垂町並み散策コース	3	9	19	54		
		沼垂	8	13	43	67	4	西大畑のお屋敷町コース	15	11	50	40		
		小計	81	96	448	542	5	白山神社・白山公園ミステリーコース	3	6	9	37		
	テーマコース	26	26	149	71	6	下町お店巡りうめえもんコース	9	6	53	32			
	特別企画	3	3	61	68	参加人数の多い外部企画								
	外部企画等	207	204	1,579	1,644	1	えんでこ	36	32	931	666			
	小計	236	233	1,789	1,783	2	予約のいらないまち歩き	123	111	267	301			
	小・中学(1,000円)	3	7	356	496	3	えんでこスペシャル	-	2	-	96			
団体ガイド (出動費)	官庁・団体(2,000円)	5	6	155	185	参加人数の多いテーマコース								
	小計	8	13	511	681	1	豪商の館と古町花街巡りコース	10	16	107	46			
合計		325	342	2,748	3,006	2	みなとまち新潟・豪商の館巡りコース	16	10	42	25			

団体申込みで、四件九十名の参加がありました。今年度は個人のお客様だけの人数で減っています。「予約のいらないまち歩き」では一部のホテル客室にチラシを常備させて頂いた事により、参加人員が増加したと推察されます。参加総数では、初めて三千名を超えました。今年も頑張りましょう。

会員名	写真	住所	趣味	関心あること	抱負
本田 富義 (西大畑G)		秋葉区	・陶芸 ・料理 ・旅行	・和食 ・街道(北国中往復環)	定番コース以外に食事やウォーターシャトルなどを組み合わせた新コースを考えたい。
松山 政文 (下町G)		東区	・囲碁(60年歴) ・PC等(30年歴) ・山歩き・町歩き	・健康の維持・継続 ・食事・歩く事に ・新聞、テレビに関心	下町・沼垂エリアを早く習熟するため、資料を読み、講演を聞き、繰り返し歩きたい。
山下 範子 (西大畑G)		中央区	・登山、 ・植物等の研究 ・家庭菜園	・日本の成り立ちから現代まで ・野菜の作り方	先人達の築いてきた新潟を、地理・歴史・風土から人々の営みまで生活者の立場から伝えたい。

会員紹介

平成二十七年ガイドは、スマートホンをご利用のお客様が増え、多額の設備投資を行いました。

アクセス項目	平成26年度	平成27年度	前年比			
総アクセス数	17,102	18,178	+6.3%			
総閲覧ページ数	60,337	65,736	+9.0%			
端末種別 アクセス数	パソコン等	11,588	68%	11,935	66%	+3.0%
	スマートホン	5,514	32%	6,243	34%	+13.2%

ホームページの利用状況

ガイドが六名も誕生している事は大変ありがたいです。新しいチラシやホームページをフルに活用し、お客様にも、市民にも喜んで頂き、そして、自らも充実したガイド活動に勝見進

編集後記

ご投稿を頂きました、田中様には、年度末始の大変ご多忙の所、快諾頂いた上に、即刻メールで投稿文を送って頂きました。「まち歩き」の原点を彷彿とさせる素晴らしい内容でした。市民大学OBの会「結いの会」の顧問でもありますが、この会から当会のガイドが誕生している事だと思っております。新しいチラシやホームページをフルに活用し、お客様にも、市民にも喜んで頂き、そして、自らも充実したガイド活動に勝見進